

## Language use in the wild

### ～日常場면을観察する意義～

相互行為班班長

千葉大学文学部

国立国語研究所

伝 康晴

## これまで使ってきた 対話/会話コーパス

- 20世紀末：課題指向対話
  - 1990年前後：ATR対話データベース
  - 1993～1996年：重点領域研究「音声対話」
  - 1994年：日本語地図課題対話コーパス
- 20世紀初頭：**多人数・マルチモーダルへ**
  - 2003年：千葉大学3人会話コーパス（雑談）
- 2010年前後～：**マルチアクティビティへ**
  - 2007年：TDU Table Talkコーパス（食事会話）

## 日本語日常会話コーパス (CEJC)

- 日常場面で（当事者たち自身のリアルな動機や目的に基づいて）**自発的に生じた**（活動に埋め込まれた）会話
- これまでのコーパスとの違い
  - 人工的な課題でない：×地図課題
  - 実験的な状況でない：×千葉大・TDU
- 注意点
  - 雑談とは限らない
  - むしろ、**課題指向**（子供の教育や家具の組み立てなど）であることが多い

## 相互行為班

- 目的
  - 会話相互行為の中で文法が果たす役割を解明
- 相互行為班の視点
  - 参与者たちが関与している**その場の活動**の中で
  - その活動を**組織する**ために
  - **その都度の局面**において
  - ことばや身体が**どのように用いられるか**  
→ 行為・状況・マルチモダリティ・関係性...

## 本日取り上げる現象

1. と文末  
兄：六十になったと。
2. 指示詞「こう」  
妻：こうだね。
3. 倒置構文  
母：取らないと。ちゃんと(h):(h)。

## と文末

- 形式：いわゆる文末表現に格助詞「と」が後接して発話が完結している場合
  - 意味：「～と」という形を取る、叙述の完結点。  
演説調の発話スタイルの中でよく見られる
  - 例：
    - まず音声データベースからメルケプストラム分析行ないまして  
メルケプストラムとそれの動的特徴量デルタとデルタデルタを求めたいと
    - で総論では賛成なんだけれども  
少し煮詰める必要があるんじゃないだろうかと
- (丸山・高梨・内元 2006)

## 事例1：背景

- 参与者：
  - 父・母・息子(兄・弟)
- 場所：
  - 自宅のダイニング
- 場面：
  - 兄は通信教育(理科の実験)の課題を遂行
  - 父は兄を指導
  - 弟は手持ちぶたさ
  - 母はその都度兄弟の両方に関与

## 事例1：全体の流れ

01 父：まあいいや。ちょっとこぼれちゃってもしょうがねえよ。  
02 (1.4)  
03 兄：洗って[くる。  
04 父： [変わった? 少し。  
05 (0.3)  
06 兄：ん?  
07 (0.4)  
08 父：針動いた?  
09 (0.5)  
10 兄：待って。(0.3)(先)洗っちゃう。  
11 (0.9)  
12 弟：おっ(0.3)すごい。((くら寿司のテーブルを転がして遊ぶ))  
13 (1.4)  
14 弟：だけどこ[れ  
15 父： [なんだこのくら寿司の(0.3)テーブルを持ってんの。  
((30行省略))  
46 母：実際は二枚[二三枚しか [食べてない[のに。hh  
47 父： [そうだよ。 [食べてない[のに(#)二十枚。  
48 兄： [六十になったと。  
49 (0.5)  
50 父： 六十?

# 事例 1 : 全体の流れ

01 父: まあいいや. ちょっとこぼれちゃってもしょうがねえよ.  
 02 (1.4)  
 03 兄: 洗って[くる.  
 04 父: [変わった? 少し. **主たる活動**  
 05 (0.3) (理科の実験)  
 06 兄: ん?  
 07 (0.4)  
 08 父: 針動いた?  
 09 (0.5)  
 10 兄: 待って. (0.3)(先)洗っちゃう.  
 11 (0.9)  
 12 弟: おっ(0.3)すごい. ((くら寿司のテーブルを転がして遊ぶ))  
 13 (1.4)  
 14 弟: だけどこ[れ  
 15 父: [なんだこのくら寿司の(0.3)テーブルを持ってんの. **脇道の活動**  
 ((30行省略)) (眼前的事物に  
 46 母: 実際は二枚[二三枚しか [食べてない[のに. hh 関わる語り)  
 47 父: [そうだよ. [食べてない[のに(#)二十枚.  
 48 兄: [六十になったと. **主たる活動**  
 49 (0.5) (理科の実験)  
 50 父: 六十?

# 事例 1 : 連鎖環境

01 父: まあいいや. ちょっとこぼれちゃってもしょうがねえよ.  
 02 (1.4)  
 03 兄: 洗って[くる.  
 04 父: [変わった? 少し. **質問**  
 05 (0.3) **修復開始**  
 06 兄: ん?  
 07 (0.4) **修復/質問**  
 08 父: 針動いた?  
 09 (0.5)  
 10 兄: 待って. (0.3)(先)洗っちゃう. **返答の延期**  
 11 (0.9)  
 12 弟: おっ(0.3)すごい. ((くら寿司のテーブルを転がして遊ぶ))  
 13 (1.4)  
 14 弟: だけどこ[れ  
 15 父: [なんだこのくら寿司の(0.3)テーブルを持ってんの.  
 ((30行省略))  
 46 母: 実際は二枚[二三枚しか [食べてない[のに. hh  
 47 父: [そうだよ. [食べてない[のに(#)二十枚.  
 48 兄: [六十になったと. ((目盛りを見ながら))  
 49 (0.5)  
 50 父: 六十?

# 事例 1 : 連鎖環境

01 父: まあいいや. ちょっとこぼれちゃってもしょうがねえよ.  
 02 (1.4)  
 03 兄: 洗って[くる.  
 04 父: [変わった? 少し. **質問**  
 05 (0.3) **修復開始**  
 06 兄: ん?  
 07 (0.4) **修復/質問**  
 08 父: 針動いた?  
 09 (0.5)  
 10 兄: 待って. (0.3)(先)洗っちゃう. **返答の延期**  
 11 (0.9)  
 12 弟: おっ(0.3)すごい. ((くら寿司のテーブルを転がして遊ぶ))  
 13 (1.4)  
 14 弟: だけどこ[れ  
 15 父: [なんだこのくら寿司の(0.3)テーブルを持ってんの.  
 ((30行省略))  
 46 母: 実際は二枚[二三枚しか [食べてない[のに. hh  
 47 父: [そうだよ. [食べてない[のに(#)二十枚.  
 48 兄: [六十になったと. **返答** [六十になったと. ((目盛りを見ながら))  
 49 (0.5)  
 50 父: 六十?

件の発話は  
隣接ペア  
第二部分  
となるべき発話

# 事例 1 : 兄の行動

01 父: まあいいや. ちょっとこぼれちゃってもしょうがねえよ.  
 02 (1.4)  
 03 兄: 洗って[くる. ((席を立て手を洗いに行く))  
 04 父: [変わった? 少し.  
 05 (0.3)  
 06 兄: ん? ((歩きながら))  
 07 (0.4)  
 08 父: 針動いた?  
 09 (0.5)  
 10 兄: 待って. (0.3)(先)洗っちゃう. ((洗面場に入る))  
 11 (0.9)  
 12 弟: おっ(0.3)すごい. ((くら寿司のテーブルを転がして遊ぶ))  
 13 (1.4)  
 14 弟: だけどこ[れ  
 15 父: [なんだこのくら寿司の(0.3)テーブルを持ってんの.  
 ((30行省略))  
 46 母: 実際は二枚[二三枚しか [食べてない[のに. hh  
 47 父: [そうだよ. [食べてない[のに(#)二十枚.  
 48 兄: [六十になったと. ((目盛りを見ながら))  
 49 (0.5)  
 50 父: 六十?

## 事例 1 : 兄の行動

01 父: まあいいや. ちょっとこぼれちゃってもしょうがねえよ.  
 02 (1.4)  
 03 兄: 洗って[くる. ((席を立てて手を洗いに行く))  
 04 父: [変わった? 少し.  
 05 (0.3)  
 06 兄: ん? ((歩きながら))  
 07 (0.4)  
 08 父: 針動いた?  
 09 (0.5)  
 10 兄: 待って. (0.3)(先)洗っちゃう. ((洗面場に入る))  
 11 (0.9)  
 12 弟: おっ(0.3)すごい. ((くら寿司のテーブルを転がして遊ぶ))  
 13 (1.4)  
 14 弟: だげどこ[れ  
 15 父: [なんだこのくら寿司の(0.3)テーブルを持ってんの.  
 ((30行省略))  
 46 母: 実際は二枚[二三枚しか [食べてない[のに. hh  
 47 父: [そうだよ. [食べてない[のに(#)二十枚.  
 48 兄: [六十になったと. ((目盛りを見ながら))  
 49 (0.5)  
 50 父: 六十?

会話の場  
から退出

## 事例 1 (省略部分) : 兄の行動

15 父: [なんだこのくら寿司の(0.3)テーブルを持ってんの.  
 16 (0.6) ((兄: 洗面場から戻って来る))  
 17 母: あれだよ. あのくら寿司のガチャポンで出たんだよ. ((兄: 父の後ろに近づく))  
 18 父: あああ. それか. ((兄: 父の斜め後方で立ち止まる))  
 19 (0.9)  
 20 父: [すげえな. なんか[ちょっと(くれる). ((兄: 父の斜め後ろに立つ))  
 21 弟: [(なんか)十ポイント[で.  
 22 母: [なんかあれさ動画でさ[::(0.2) ((兄: 立ったまま聞く))  
 23 父: [うん.  
 ((16行省略))  
 40 母: h ば(h)か(h)じ(h)や(h)な(h)い(h)の(h).  
 41 [hh [hh  
 42 父: [ば(h)か(h)じ(h)や(h)な(h)い(h). [あっそっか.=請求そうだよ. =  
 ((兄: 父に視線を向ける))  
 43 母: =そうそう. あれ入れたらせ[い求だからさ. ((兄: 後半で視線を母に戻す))  
 44 父: [うん.  
 45 (1.2) ((兄: 視線を落とす))  
 46 母: 実際は二枚[二三枚しか [食べてない[のに. hh ((兄: 測りを覗き込む))  
 47 父: [そうだよ. [食べてない[のに(#)二十枚.  
 48 兄: [六十になったと. ((目盛りを見ながら))

## 事例 1 (省略部分) : 兄の行動

15 父: [なんだこのくら寿司の(0.3)テーブルを持ってんの.  
 16 (0.6) ((兄: 洗面場から戻って来る))  
 17 母: あれだよ. あのくら寿司のガチャポンで出たんだよ. ((兄: 父の後ろに近づく))  
 18 父: あああ. それか. ((兄: 父の斜め後方で立ち止まる))  
 19 (0.9)  
 20 父: [すげえな. なんか[ちょっと(くれる). ((兄: 父の斜め後ろに立つ))  
 21 弟: [(なんか)十ポイント[で.  
 22 母: [なんかあれさ動画でさ[::(0.2) ((兄: 立ったまま聞く))  
 [うん.  
 h)か(h)じ(h)や(h)な(h)い(h)の(h).  
 [hh [hh  
 h)か(h)じ(h)や(h)な(h)い(h). [あっそっか.=請求そうだよ. =  
 ((兄: 父に視線を向ける))  
 そうそう. あれ入れたらせ[い求だからさ. ((兄: 後半で視線を母に戻す))  
 [うん.  
 (1.2) ((兄: 視線を落とす))  
 二枚[二三枚しか [食べてない[のに. hh ((兄: 測りを覗き込む))  
 [そうだよ. [食べてない[のに(#)二十枚.  
 [六十になったと. ((目盛りを見ながら))

会話の場  
に復帰

父母の様子を  
見ながら  
発話機会を  
うかがう

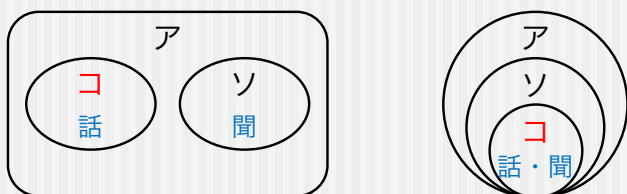
ようやく得た  
発言機会

## と文末 : まとめ

- 演説調でなくても「と文末」は使われる
- なぜ「と文末」を用いたのか?
  - 延期されていた隣接ペア第二部分
  - いったん退出して復帰した会話の場
  - 母の語りが行なわれている状況
  - (受け手となるべき) 父は母の語りに参与
    - 通常の発話として第二部分を構成できない
    - あえて引用形を取ることで、未成熟な参与構造の中での発話を可能にした?

## 指示詞「こう」

- 指示詞の用法 (e.g., 正保 1981)
  - 文脈指示：談話の中で話題になっているものや記憶の中にある要素を指し示す用法
  - **現場指示**：談話の場において実際にあるものを指し示す用法



## 事例 2：背景

- 参加者：
  - 妻・夫
- 場所：
  - 自宅のリビング
- 場面：
  - 二人でカラーボックスを組み立て
  - 妻がおもに指示
  - 夫がそれに従う

## 事例 2：概観

- 2種類の「こう」
  1. 自身がいま行なっている行為や自身に見える状態を指す
    - こっちってことね=じゃあ(0.2)こうして
    - て(0.3)こう置いて=離すよ
    - うん行かない(とこ)=そうだねこ-こうじゃないかな
    - こっちま- (.)こうこんな感じなんだけど
  2. 他者が行なう行為の結果状態を指す
    - ひっくり返す感じ? (0.7) **こうだね**
    - んで(0.8)こう=そうだねそうだね

## 事例 2：2種類目の「こう」

- 01 妻: で:
- 02 (1.4)
- 03 妻: シートの貼ってある面を内側. ((夫婦とも説明書を見ながら))
- 04 (0.4)
- 05 妻: だよね.=
- 06 妻: =それが(0.2)こっちに見えるようにだから:.
- 07 (0.9)
- 08 妻: ひっくり返す感じ?
- 09 (0.7)
- 10 **妻: こうだね.**
- 11 (1.3)
- 12 夫: はい. (0.2)ちよと(0.1)これほんと[に慎重に扱わないと
- 13 妻: [で

## 事例 2 (前半) : 妻の行動

01 妻: で:  
02 (0.7)\*(0.7)  
\*両肘を両膝につく->  
03 妻: シートの\*貼ってある面を内\*側. ((夫婦とも説明書を見ながら))  
----->\*右手を回外する->\*右掌を上に向けて停止->  
04 (0.4)  
----->  
05 妻: \*だよね.=  
\*右手の人差し指で板を指す->  
06 妻: =それ\*が(0.2)こっちに見えるようにだから\*:.  
----->\*右手で板を指して停止----->\*両肘を両膝から上げる->  
07 (0.9)  
----->

## 事例 2 (前半) : 妻の行動

01 妻: で:  
02 (0.7)\*(0.7)  
\*両肘を両膝につく->  
03 妻: シートの\*貼ってある面を内\*側. ((夫婦とも説明書を見ながら))  
----->\*右手を回外する->\*右掌を上に向けて停止->  
04 (0.4)  
----->  
05 妻: \*だよね.=  
\*右手の人差し指で板を指す->  
06 妻: =それ\*が(0.2)こっちに見えるようにだから\*:.  
----->\*右手で板を指して停止----->\*両肘を両膝から上げる->  
07 (0.9)  
----->

操作対象を  
指定

## 事例 2 (後半) : 妻の行動

08 妻: \*ひっくり \*返す \*感じ?  
\*右手をはらう->\*右手を下げる->\*両手で板を受け取る形を作る->  
09 (0.1)\*(0.3) \*(0.3)  
----->\*両掌を上に向けて停止->\*両手を前に差し出す->  
10 妻: こ\*うだね.  
->\*両手を差し出して停止->  
11 (0.7)\*(0.6)  
----->\*板を受け取る->  
12 夫: はい. (0.2)ちょ\*と(0.1)これほんと[に慎重に扱わないと  
13 妻: [で  
----->\*板を側板に乗せる

## 事例 2 (後半) : 妻の行動

夫の行為の  
目標点を  
指示

ひっくり \*返す \*感じ?  
右手をはらう->右手を下げる->\*両手で板を受け取る形を作る->  
(0.1)\*(0.3) \*(0.3)  
----->\*両掌を上に向けて停止->\*両手を前に差し出す->  
10 妻: こ\*うだね.  
->\*両手を差し出して停止->  
11 (0.7)\*(0.6)  
----->\*板を受け取る->  
12 夫: はい. (0.2)ちょ\*と(0.1)これほんと[に慎重に扱わないと  
13 妻: [で  
----->\*板を側板に乗せる

## 指示詞「こう」：まとめ

- 他者が行なう行為の結果状態を指す用法
- 現場指示用法だが。。。
  - 直後に実現する状態を指すという点で文脈指示の後方照応 (コ系のみ可能) に似ている?
  - 結果状態を指し示すことで、たんなる指示 (pointing) ではなく、指図 (direction) になっている

## 倒置構文

- 格要素や連用修飾要素が述語の後に後置される構文
  - 話し言葉に特徴的
  - 焦点は後置されない (高見 2001)
  - 発話計画の失敗・語用論的な有標化・要点の確認や強調のための付加 (藤井 1991)

## 事例 3：背景

- 参加者：
  - 父・母・息子 (兄・弟)
- 場所：
  - 公園
- 場面：
  - 父と兄弟は野球
    - 父：ピッチャー
    - 兄：キャッチャー
    - 弟：バッター
  - 母はそれを眺めながら指示する

## 事例 3：野球をしながら

01 兄: じゃ[:俺後ろでキャッチャー. ((キャッチャーの位置に歩きながら))  
02 父: [:(あれ)  
03 (1.6)  
04 母: グローブしな.  
05 (3.0)  
06 兄: パ-これどっち利き? ((グローブをはめながら))  
07 (2.6)  
08 弟: はい. (0.3) いいよ. (0.1) ((バットを持って  
09 ぱって投げ[:て. わさわさしながら))  
10 母: [ah もっと近くで. 近く. (0.2) h ((兄を指差しながら))  
11 (1.0) ((兄: 少し前に出る))  
12 母: バットに当たらないようにね.  
13 (0.2)  
14 兄: やっ君ちょっと一回バット振ってみて.  
15 (2.1) ((弟: バットを振る))  
16 兄: こころ辺でいいな. (0.1) ((その場でしゃがむ))  
17 こころ[辺でいいや.  
18 母: [ahaha.h (.) 遠い. キ(h)ヤ(h)ッ(h)チ(h)ヤ(h)-(h).  
19 hahaha[:h  
20 弟: [e (0.5) hhhh[:h (0.4) hhhahaaha= ((父がボールを投げ、弟が空振り、  
21 母: [ah 兄がボールを後逸))  
22 弟: =[ahaaha.hahah.haha.h  
23 母: [ahahah.h ほら:それじゃい- (0.4) ((兄を指差しながら))  
24 母: 一点入っちゃうよ.:. 取んないと. ちゃんと(h):(h). ((取る動作をしながら))

## 事例3 (後半) : 母の行動

16 兄: こちら辺でいいな. (0.1)  
 17   こちら[辺でいいや.  
 18 母: [ahaha.h (.).遠い. キ(h)ヤ(h)ッ(h)チ(h)ヤ(h)ー(h).  
 19   hahaha[.h  
 20 弟: [e (0.5) hhhh[.h (0.4) hhhahaaha=  
 21 母: [ah  
 22 弟: =[ahaaha.hahah.haha.h  
 23 母: [ahahah.h ほ\*ら:それじゃ\*い- \*(0.4)  
       \*prep----->\*str->\*ret->  
       \*兄を指差し----->  
 24 母: 一点入っちゃ\*うよ:. \*取 \*んないと. ちゃんと(h):(h).  
       \*prep----->\*str->\*ret----->  
       \*ミットの形で動かす->

## 事例3 (後半) : 母の行動

16 兄: こちら辺でいいな. (0.1)  
 17   こちら[辺でいいや.  
 18 母: [ahaha.h (.).遠い. キ(h)ヤ(h)ッ(h)チ(h)ヤ(h)ー(h).  
 19   hahaha[.h  
 20 弟: [e (0.5) hhhh[.h (0.4) hhhahaaha=  
 21 母: [ah  
 22 弟: =[ahaaha.hahah.haha.h  
 23 母: [ahahah.h ほ\*ら:それじゃ\*い- \*(0.4)  
       \*prep----->\*str->\*ret->  
       \*兄を指差し----->  
 24 母: 一点入っちゃ\*うよ:. \*取 \*んないと. ちゃんと(h):(h).  
       \*prep----->\*str->\*ret----->  
       \*ミットの形で動かす->

述語が  
身振りと同期

倒置要素は  
身振りの後で

## 倒置構文 : まとめ

- 発話計画の失敗でも語用論的な有標化でもない倒置
- なぜ倒置構文を用いたのか?
  - 「ちゃんと取んないと」と発話したい
  - 「取る」身振りが先に始まる
  - 「取ん」の発語を身振りに同期
 → その結果、述語を先に修飾要素を後に発語
  - 「取る」身振りを始めたタイミングは兄との相互注視に関係する?

## まとめ

- 「野生」の言語使用
  - その場の活動を組織するために、身体とともに、ことばが用いられる
- 日常場面を観察する意義
  - 日常場面はさまざまな活動であふれている
  - このような場面を詳細に観察することなしに、人間の言語使用の本質はわからないのでは?
 → これこそが「日常の科学」の目標